

町の話題



平成21年度にスタートした下仁田高校「下仁田ふれあいアカデミー」の活動は、本年度で4年目を迎え、地域の方々にも幅広く知られるようになりました。下仁田町役場、下仁田町商工会、下仁田町食生活改善推進協議会、地元農家の方々、下仁田高校同窓会「高嶺会」、その他多くの方々の協力があり、この事業は進められています。

「下仁田ふれあいアカデミー」は「匠プラン」、「習プラン」、「歩プラン」という3つの視点で活動をしています。「匠プラン」は地域の方を講師として迎えお話を聞いたり、地域の企業に職場体験（インターシップ）としてお邪魔させていただいたり、地域の方から勉強させていただく活動です。

「習プラン」はトレーニングルーム、図書館の一般開放、体育館等の施設を利用してもらうといった、学校から地域の方々へのアプローチです。昨年は学校の公仕を務める職員が東日本大震災の被災地ボランティアに行った経験から、講演会を開きました。

「歩プラン」は、地域の方とともに歩いていく活動で、地域への貢献活動を模索しています。活動内容としては、通学路を中心とした清掃活動や、商工会青年部のイ

ベントの手伝い、ねぎ畑でのボランティアなどがあります。特に平成21年度から23年度まで高崎経済大学との高大連携事業を実施し、その中で多くの活動が生まれまし。この研究活動では、下仁田の商業、農業、自然、観光に着目し、商工会青年部フェスティバルで出し物を考えたり、農家を訪問し、下仁田の農産物のPRビデオを作ったり、下仁田ジオパーク推進室で取材をし、「簡単ガイド」を作成したり、下仁田の飲食店や直売所を紹介した「下仁田ふれあいマップ」を作成するなどといった活動が3年間で行われました。

こうした地元との連携活動は、生徒の視野を広げる機会となるばかりでなく、地域の振興にも貢献するものと評価されており、活動は継続されるということです。今後の活躍と発展を期待したいと思います。

地域のたから

下仁田高校三年生の恩田貴浩君は、アカデミー活動の一環もあり、3年間下仁田こんにやく夏祭りの会場・各種諸行事に於いても自ら進んで、ゴミ拾いをしていただきました。大変に感謝しているとともに、今後も地域活動にご協力願うことを期待いたします。

編集室から

敬老大会が各地区で開催され、社会福祉協議会を中心に各種団体の役員各位の活躍、力添えにより、賑やかに催されました。この世に生を受け人生の苦楽を歩まれて、長寿を授かることは、今の私達には、大変羨ましく思います。人生をいかに楽しく生きるか。自分に合った趣味を持たれて活動されている方々は、大変に若々しいですね。趣味を持てばこれまでとは違った明日が見える。生きがいを見つけて楽しい人生にしましょう。

広報発行特別委員会

委員長 矢嶋榮一
副委員長 木暮弘元
委員 原 秀男
委員 高瀬政信
委員 佐藤 博
委員 岡田武二

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

問い合わせ先
電話82-2111（内線610番）